

29年度一般会計補正予算 (第2号)など5件の補正予算を可決

予算全体の所要額を見直し、今年度中の適正な予算執行を確保することを目的に一般会計補正予算(第2号)など5件の補正予算が提案され、全員賛成で可決されました。

〈一般会計〉

27億4648万円増額し

399億3746万円に

■主な質疑

問 学校適正化検討委員会は何人ぐらいの委員で、何回開催し、どのような分野の方々から選考するのか。

箱山教育次長 委員会の人数は20人以上ということとで進めている。回数は本年度内に3回開催したい。構成員は、学識経験者、児童生徒の保護者代表、校長会から推薦をもらい校長先生方2人、地区の代表者など町内でバ

ランスよく選定したいと思っている。あとスポーツ少年団の活動の観点から社会教育関係者も考えている。また、学識経験者については、町で初めて大がかりに取り組むことでもあるので、県内で実績のある方ということとで、岩手大学の教授を何とかお願いできないかと進めている。もう1人について、町外から学識経験者2名を入れることで調整を進めている。

財政健全化判断比率

良好な状態

地方公共団体の財政の早期健全化や再生の必要性を判断するため、次の4つの財政指標を「財政健全化判断比率」として定めています。

本町の28年度財政健全化判断比率は、町監査委員の審査の結果、「いずれの比率についても、良好な状態にあると認められ、特に指摘すべき事項はない」との報告を受けました。

■財政健全化判断比率

①実質赤字比率
一般会計で生じた実質赤字額の標準財政規模に対する比率

公営企業会計資金不足比率

良好な状態

公営企業会計資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度あるかを示すものです。本町の3つの公営企業

会計においては、町監査委員の審査の結果、「良好な状態にあると認められ、特に指摘すべき事項はない」との報告を受けました。

第4回臨時会 (7月10日)

議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

■山田地区復興整備事業
業務委託の変更協定を締結

▽変更前協定金額

518億9664万円

▽変更後協定金額

522億9664万円

▽協定の相手方

独立行政法人都市再生機構
岩手震災復興支援本部(盛岡市)

第5回臨時会 (7月31日)

議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

■町民総合運動公園ラグビー・サッカー場人工芝新設工事の請負契約を締結

▽工期
29年8月4日

▽契約請負額
30年1月15日
1億206万円

▽受注者

三好建設株式会社
(宮古市)

第6回臨時会 (8月24日)

議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

■町消防団第6分団消防屯所建設工事の請負契約を締結

▽工期

29年9月1日

▽契約請負額
30年3月15日

5605万円

▽受注者

佐々勇建設株式会社
(宮古市)